

飛翔

12月号

言志四録 (げんししろく)

No81

NAKAMIRISE

少(わか)くして学べば、則(すなわち)ち仕にして為(な)すことあり。
仕にして学べば、則ち老いて衰(おとろ)えず。老(お)いて学べば、則ち
死して朽(く)ちず。

この言葉は江戸の儒学者佐藤一斉の「言志四録」の著書にある格言の一部です。教育改革基本法の審議のなかで小泉首相がこの格言を取り上げて一躍有名になりました。佐藤一斉は美濃国岩村藩(現恵那市岩村町)の家老の次男として江戸で生まれ、藩の家臣として仕える一方儒学を学び、34歳で朱子学の塾長となり、徳川幕府の大学頭として多くの門下生の教育にあたりました。幕府の儒官であったことから朱子学を学びましたが陽明学も学び、儒学者の最高権威として崇められました。門下生は多く、一斉から育った弟子が、佐久間象山、渡辺華山、勝海舟、坂本龍馬、吉田松陰、小林虎三郎などがいます。彼らを通して、一斉の教えが幕末維新により新しい日本を作っていった指導者たちに大きな影響を与えたと言われています。一番の信奉者が西郷隆盛と言われています。

10月の総選挙は分裂野党の利を得て自民党が圧勝しました。経済も快調であり北鮮の暴発を抑える安部首相の外交力の評価も国民の支持を得ているものと考えられます。既に、2,400日を超え、戦後第三位の長期政権になりました。政権には巨大与党になりましたが、長期化すれば内部の離反もあり、政権維持には権力抗争がつきものです。森内閣の後継で弱小派閥の小泉氏は巧みな演説で国民の心を掴み、郵政民営化を掲げて政権につきました。また、小泉首相の演説は主張が説明型ではなくシンプルで分かり易く儒学者の書物の援用などもあって演説に説得力がありました。所信表明での長岡藩士小林寅三郎の「米百俵」や、教育改革基本法での審議では「言志四録」を援用して議案説明が行われました。私達も仕事の他の分野についての幅広い知識を涵養して、仕事の場でのコミュニケーション能力を高める必要があります。

今年もあと1ヶ月になりました。1年間、社員の皆さんには私の提唱する各種の課題について真剣に取り組んで頂き感謝しています。40期は4カ月を経過しました。成果が出せている人、まだ課題が解決されていない人、一人ひとりが1年の締め括りとしての総括をして頂きたいと思っています。

春風(しゅんぷう)を以(もつ)て人に接し、秋霜(しゅうそう)を以て自ら肅(つつし)む
言葉では分かっている行動は難しいものです。心のひと隅にこの言葉を持ち、自分自身を律していききたいと思います。



代表取締役 中村 陽公



内定式

工務部 野崎好輝

11月1日水曜日に中村土木建設の内定式が行われました。
久々の内定式で今回の新卒内定式には3名が参加されました。
自分は昨年8月に中途採用で入社しました。今までと環境が変わり慣れるまでに時間がかかりました。
内定者の方は来年4月の入社までに早朝勉強会などの会社行事に参加されるとのことなので中村土木建設およびナカミライズグループの方針、雰囲気に関心を持って早く慣れるように声掛けなどを行っていきましょう。



平野明日香さん



上島潤也さん



栗原堅さん



東海市産業まつり

11/4(土)、11/5(日)の2日間、東海市産業まつりが開催されました。
元浜公園会場(元浜公園・東海市民体育館)に中村不動産、ライフサポートなかむら、ケアプラン楓が出店しました。不動産ではスマートフォンで家が見えるVR体験、介護ではアンケートにご協力いただいた方にくじを引いてもらいカレンダーやキーホルダーなどをプレゼントしました！歯科技工士の矢田さんにもご協力して頂き入れ歯の出張お掃除の宣伝もできました！
去年より多くの方に来場して頂き中村不動産、ライフサポートなかむら、ケアプラン楓の名前をアピール出来たと思います。



おめでとう



11月6日(月)午前11時ごろ
(株)中村土木建設 工務部 岩見孝志さんに第一子となる女の子(2,864g)が誕生しました。
おめでとうございます。



柚奈(ゆな)ちゃん

(仮称)T'sスクエア新築工事

(株)中村土木建設

工務第3G 亀田裕介

工事概要: 店舗新築工事 S造2階建



ご安全に。先日の誕生日でまた一步着実にアラサーの世界へ足をつっ込んだ亀田です。
さて今回、僕が担当した現場ですが、鉄骨造2階建の店舗新築工事です。
今回の工事の特徴として、建物の内容や建築条件としては特に難しい特色は無いのですが、店舗の内装は工事に含まず、いわゆる『箱をつくる』という内容の工事でした。
契約設計図には、後に入居するテナント(店舗)の内装図面は無いのですが、テナントビルを建設するというからには、すでに入居予定のテナントが決まっており、工事を進めていく上で、竣工後のことまで念頭に置いておく必要があります。
お客様のニーズはあくまで、今後どのようにしてテナントビルに空きを作らずに経営していくかという事が重要で、品質も勿論ですが、不動産物件としての考え方も必要であったため、お客様と一緒に考え、中村不動産の曾和さんの協力やアドバイスをもらいながら、なんとか工期内に竣工し、お客様に感謝してもらえるような仕事ことができました。
このように、他の部署とも連携して行った大きい仕事は自分は初めてなので、グループ会社でお客様に対して一貫してサービスを提供できる強みを感じた工事でした。



12月6日 松岡昭一さん
12月12日 白神彰人さん
12月17日 山本英孝さん
竹内靖曜さん
12月22日 中村美由喜さん
おめでとうございます！！

クイズコーナー

間違い探しです。
それぞれ3つあります。
見つけられますか？

